

## (11) 中学校美術部会

会 長 渡邊 章久 (中 筋 中)  
副会長 岩井 崇通 (西土佐中)  
事務局 弘田 幸嗣 (中 村 中)

1. 研究主題 「豊かな感性と創造性を育て、表現力を高める造形教育」

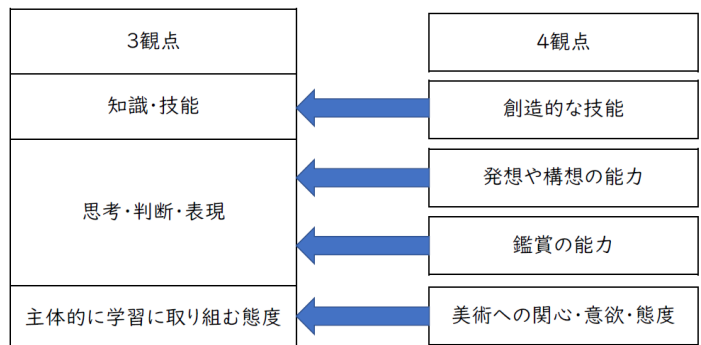
### 2. 研究経過

実施年月日	研究のあらまし	会場	備考
令和3年 5月6日(木)	四万十市教育研究会 組織総会 内 容「役員選出、研究主題設定、年間計画」	中村南小学校	7名参加
7月30日(金)	第1回 学習会(講義・作品交流会) 講義内容「新学習指導要領での教科の見方・考え方、 美術の評価について」 講 師 岡本 絵里 先生(教育センター) 交流内容「生徒作品を用いての交流」	中村中学校	6名参加
9月30日(木)	第2回 学習会(作品交流会・情報共有) 交流内容「生徒作品を用いての交流」	中村中学校	6名参加

### 3. 第1回学習会(講義・作品交流会)

○講義内容「新学習指導要領での教科の見方・考え方、美術の評価について」

高知県教育センターの岡本チーフを招いて講話をしていただいた。講話の内容は、教科の基本事項と学習評価についてであった。まず、基本事項の内容としては、教科の目標、内容、共通事項、造形的な見方・考え方等について確認をした。学習評価では、新学習指導要領の全面実施に伴って、「美術への関心・意欲・態度」「発想や構想の能力」「創造的な技能」「鑑賞の能力」の4観点から「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点到整理されたことについて、評価規準の設定方法を詳しく確認することができた。質疑応答では、評価に関してより詳細に説明していただいたことで、今後すぐに実践で活かせる有意義な時間となった。



観点の捉え方

○作品交流会

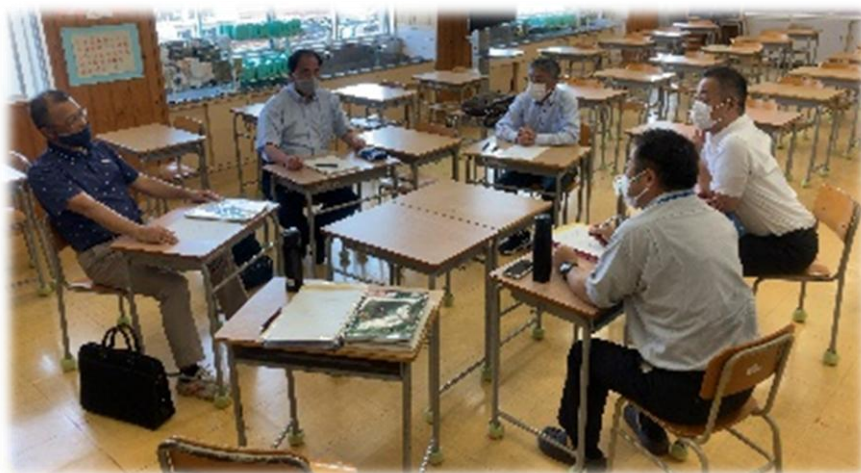
各校から1学期に取り組んでいる作品を持ち合って交流を行った。さらに、普段の授業でどのように作品づくりを進めているのか等も意見交換した。



#### 4. 第2回学習会（作品交流会）

各学校での1学期の取り組みを基に作品交流を行った。デザインでのポスター制作の話では、ポスターカラーセットの費用、題材、道具の扱い方等、様々な話題について共有を行った。デザインでの着彩では、ムラなく塗るには水分量や混ぜる量、筆先と利き手の意識・画面の回転等を駆使することが重要であることや塗る形に直線部分が多い場合はマスキングテープを活用することが有効であること。絵画の振り返りシートに単元ゴールを記載することで生徒にゴールイメージを持たせることや、風景画では風景写真をデータで保存してタブレット端末で選択させるといった活用方法があること。話し合い活動では、アドバイスタイムを設定することで他者の考えを基に自分の作品に活かすといった取り組みを行っている学校もあった。その他、教材に関する費用や制作時間について、それぞれの学校での取り組みを共有することができた。

質疑応答では、加法混色・減法混色の違いといった混色や着彩方法について、写生画の仕上げの段階では、近くのは濃くはっきりと水を少なくして塗る等の技法面でのポイントも確認した。



#### 5. 今年度の成果と課題

成果は、免許外の教員が授業で指導する際に困っている内容を専門の教員がその場でアドバイスすることで解消できたことや、教育センターの岡本チーフに新学習指導要領を分かりやすく解説してもらったこと。

課題としては、進度の異なる生徒への対応方法が挙げられた。課題の量や発展課題を設定する等、今後の検討課題となった。さらに、美術においてタブレット端末を活用した授業をどう実施するかの研究授業を実施することも挙げられた。